

白門四八会

中央大学白門48会会報創刊準備号
(題字：中央大学総長 高木友之助)

発行
白門48会結成準備会
東京都千代田区神田
駿河台3-11-5
中大駿河台記念館
学員事務局気付
TEL 03-3219-6175



中央大学多摩校舎

昭和四八年卒業生の同期会「白門四八会」が結成されること、おめでとうございませう。卒業二五年が経過し、厳しい経済情勢のもとではあります、皆様には、様々な重責を担われてご健勝にてご活躍のことと存じます。



中央大学総長

高木友之助

皆様の母校中央大学は、教育研究条件の抜本的充実を図るべく、皆様が学生時代を過ごされた神田駿河台に別れを告げ文科系全学部が昭和五三年多摩の地に移転するとともに、続いて理工学部の大規模校舎拡充を行いました。そして、昭和六

白門四八会結成に寄せて
交流と親睦の進展を願って

〇年の大学創立百周年を契機として鋭意大学改革に取り組み、全ての学部で学科を増設するとともに、平成五年には総合政策学部を新設いたしました。引き続き現在、二世紀における本学の一層の発

展をめざして、社会人を対象とした大学院の抜本的拡充と都心展開、学部における教育内容の一層の改善充実、夜間部の抜本的改革、多様な学外諸機関との共同研究の推進等に全学をあげて積極的に取り組んでおります。

また、幸い、平成一一年度中には、既に部分開通している「多摩都市モノレール」が全面開通し、大学構内に入り入れてくる事が確定しております。これにより、難点だった交通の便も飛躍的に改善されることとなります。

ともすれば中央大学の卒業生は一匹狼で、卒業生同士も、大学とも、つながりが薄いといわれます。この会が基盤となって、卒業生の皆様同士や皆様と大学との交流・親睦が進展することを心から期待しております。

本年六月に開催されるという「白門四八会」結成総会が成功されることを念じてご挨拶いたします。

平成一一年三月一日

市政に新風を!

公明党多摩支部副支部長

すがわら 進

菅 原 すすむ

住所：〒214-0014 川崎市多摩区登戸3095
電話 044-933-2043・FAX 044-933-1950

衣料のことならなんでもご相談下さい

ヤザワ企画

矢澤 米夫

〒168-0072 東京都杉並区高井戸東4-7-14
TEL 03-3335-6911 FAX 03-3335-6946
携帯電話 090-3905-1848

白門48会
結成準備会
代表副代表
からのメッセージ

私たちの同期会が

めざすもの



久部 利学 卒
代表 田商
代横

私たちの同期会の目的は何でしょう。「会員相互の交流と親睦」が第一には違いありませんが、それだけでいいのか、という声もなかにはあるでしょう。
この点実は準備会のなかでもそれほど議論をしたことはありません。率直に申し上げれば、私はあまりギリギリ議論（学生時代はわりと好きだったのですね）をせずに、それぞれの会員の方々の思い入れと活用の仕方があっていいのではないかと思っています。
ひたすら往時を懐かしむもよし。現況や明日を語り

合うもよし。ビジネスのパートナーや相談相手探しに活用するもよし。相互・自己啓発に役立てるもよし。
とにかく、在学中は交流がなくとも、中央大学で時代に青春をともにしたこととは得難い共通体験です。もうそれだけで心のガードは下がり、共感しあえると思います。
ですからぜひ、当時の学部やクラスやサークルや友人関係の枠を取り払って、積極的に交流しましょう。そういう「場」としての役割を同期会が果たすことができれば、それで十分です。
「同期会支部は年齢とともに、その良さ・存在価値がわかってくる」と、各年次同期会の先輩の皆さんが声をそろえて言っておられます。
ですからあまり肩肘張らず、無理をせず、とにかく楽しくて明るく長く続けて、いつかある日それまで関心がなかった方が「こういう会があってよかった」と気づいて入会してくださるような会にしたいと思っています。

ユニークな会を！



一研 田井法 副
代表 井法
代新

学部・クラスを超えた連帯など「難しい」と思う半面、「あってもいいじゃないか」とも思う。共有する「あの時」などはないと思いますが、「明日」は共有できると思います。
表面的な和気あいあいは日常のなかにたくさんありもううんざりです。ぼくらは十分忙しいし、人生の間も若いときのようにたっぷりあるとはいえません。
白門会ということをあまり意識せず、一人ひとりが会のなかで生



準備会結成・会合の懇談会

生きと存在し、一人ひとりのための会であればいいなアと思います。
皆さんの協働でつくり上げる会です。一人ひとりが汗と知恵を出しましょう。ぼくたちはとにかくスタートします。歩きながらつくっていきましょう。
やる以上は既存の会になり新しいスタイルの会をつくり上げ、「常に楽しく」をモットーにしていきたいものです。

相続・贈与・税務申告・記帳代行・
経営計画策定指導

税理士 安藤正敏

正確さと敏速さ！

安藤税理士で安堵しましょう！

事務所 千葉県松戸市松戸1063-6-201
TEL047-365-4374 FAX047-368-9381

安藤税理士事務所テーマソング

心と心の細道に みんなの小さな親切が
お客を呼んでは 呼んでは増える お客の
件数が増えて広がる 1件が10件に 10件が
100件に 100件が1000件に増えていく
いつでも いつでも いつでも みんなは
夢見る 夢見る 夢見る 金づるよ～

白門48会結成への道

文=横田利久



旧駿河台校舎中庭

私たちの 学生時代

昭和44年5月18日、紛争の影響によって延期されていた入学式が、講堂で行わ

れ、ようやく私たちの学生時代が始まりました。

授業開始は、それからなお3カ月を要し、8月11日でした。

開始はしたものの、「授業開始阻止行動」や「内ゲバ」によって休講になってしまふこともしばしばでした。

在学中には当時の状況を反映して、「三島由紀夫事件」「ベトナム反戦運動」「1ドル360円時代の終焉」「沖縄返還」「日中国交回復」「連合赤軍事件」など社会を揺るがす政治的・経済的・社会的の大事件が立て続けに起こりました。

一方で「人類月面着陸」「大阪万博」など人類の科学技術の進歩と、日本の高度経済成長を実感した時代でもありました。

当時の中大生の送り額の平均は2万5千円、平均生活費は3万2千円。貧しかったですが、駿河台界隈の様々な人々がそういう学生を懐深く包み込んで

くれていました。そして1カ月必死でアルバイトをすれば、年間の学費がほぼ稼げた良き時代でもありませんでした。

最後の卒業試験も、学費改定紛争によるロックアウトでレポート試験となったため、ちゃんと勉強をした記憶に乏しいのですが、それでも現在の学生のように就職にさして苦労することもなく、それなりに自分の進路・就職先を見つけて巣立っていくことができた時代でした。

それから 母校そして 私たち

あれから25年が経過し、母校中央大学は、大学紛争の過程で学生・教職員をはじめ学内外から提起された教育上の問題を真摯に受け止め、全学的な議論を重ねた結果、狭隘な駿河台では教育研究条件の抜本的改善は不可能として、昭和53年4月多摩校地に文科系全学部が移転しました。

O. M. P.
ORDER OF MERIT PLANNING
C O . L T D .

代表取締役 **宮崎 守**

(株)オーダー・オブ・メリット・プランニング
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-2-12
TEL 03-3226-0590 FAX 03-3226-0529

有限会社オフィスミツヨ

人材派遣 ビル床、清掃。
個人輸入 ハウスクリーニング
(パイプ、リグ)

取締役 **新井田 研一**

〒182-0024 東京都調布市布田1-43-2-106
TEL (0424) 89-3160

一方私たちは、この間、高度経済成長の終焉、第1次・第2次オイルショックや円高不況、国際競争の激化、それらによる数次にわたる合理化といった数々の試練と、いくつかの人生の節目を乗り越え、中大卒らしい着実さと粘り強さを発揮して、仕事・家庭・地域・社会のそれぞれにおいて様々な重責を果してきました。

しかしながら、現下のきわめて厳しい経済情勢のもとで、困難な局面や岐路に立たれておられる方や新たな挑戦と飛躍に向けて準備を進めておられる方も少なくないと思います。

こうしたなかで、私たちは、昨年の母校主催のホームカミングデーで卒業25年の私たちがメインゲストとして大学に呼ばれることになったのを契機として、中央大学学員会（同窓会）事務局からのお誘いもあり、昭和48年卒業生を主対象とした同期会（同窓会）を結成することとしました。そして、昨年6月以来、次のような活動を行ってきました。

これまでの同期会結成準備活動の経過

1 準備会の設立

同期会結成に向けた第1回の準備会合を、平成10年6月24日に、中央大学駿河台記念館で開催。当日は16人の昭和48年同期卒業生が集まり、次の事項を申し合わせ、活動を開始しました。

- ①ホームカミングデーが契機となって、毎年順次結成されている各年次同期会と同様に、中央大学学員会の正式支部としての同期会結成をめざす。
- ②準備会を組織し、準備会の代表として横田利久（商）、副代表はその他の学部から選び新井田研一（法）、佐藤豊（経）、福岡悟（理工）、佐藤愛子（文）とする。準備会は、毎月1回中央大学駿河台

2 入会勧誘活動

- ①ホームカミングデーに向けて準備を重ね、当日は20人以上の準備委員がのぼりと看板を使用した入会勧誘活動を行い、116人の入会申込みを得た（当日参加
- ②以後、ホームカミングデー参加者で入会未申込者への呼びかけ手紙（平成10年11月）、学員会費納入者で入会未申込者への呼びかけ手紙（平成11年1月）を送付。
- ③昭和44年入学者であれば、卒業年にかかわらず有資格とする。
- ④当面の活動を準備委員の拡充とホームカミングデー（平成10年10月4日開催）における会員確保におく。



ホームカミングデーで入会勧誘活動した委員

3 結成総会に向けて

現在の同期会結成総会を平成11年6月5日（土）に、中央大学駿河台記念館で開催することとし、総勢46人の準備委員のもとで主に次の活動を行っています。

- ①入会者のネットワークを活用した会員拡充活動
- ②同期会結成総会に上程する会則・事業計画等の検討、役員候補者の選定
- ③同期会結成総会当日の準備活動

A B C 国際電話

佐藤愛子

〒206-0033 多摩市落合3-5-4-103
☎ 0423-76-6440

川島産業株式会社

代表取締役社長

川嶋直人

本社 東京都中央区新富1丁目6番10号
東京営業所 東京都中央区新富1丁目4番6号
〒104-0041 電話 東京(3551)9521~5番
FAX 東京(3553)2919番

人生の拠り所になれば



豊部 学 代表
副 藤 藤 佐 経 済 学

平成10年6月以来、十数名で準備会を立ち上げ半年を経過するうち、あっという間に仲間が50名近くになったことにまず感動をおぼえております。

私は私なりに結成までのストーリーを描いておりました。しかし、現実私の想像を超えたスピードで行っております。

このことは、準備会の仲間一人ひとりのこの会に対する熱い思い、そして行動があったからであります。このままの調子で結成総会まで進行していけば、ほかの白門年次会に負けないしっかりとした組織になると確信しております。

私も仲間の一人として、準備会の仲間には負けないよう一生懸命の努力をするつもりであります。

私は、この会が、同期の仲間同士上下関係もなく、

かつ利害関係もなく、これからの10年・20年のそれぞれの人生において、ひとつの拠り所になるような会になれば最高だと考えております。

いずれにしても、会の仲間と意見を出し合い、一つひとつ積み上げていけば必ず素晴らしい組織はできると確信しております。

これからの「何か」に期待しよう



岡田 悟 代表
副 藤 藤 佐 経 済 学

過日、佐藤豊(副代表)君から白門48会結成準備会に参加しようと誘われるま

ま、ただ「異業種交流が得意、仕事にでも繋がるか」との単純な動機のまま参加し、今日に至っています。

ある時、学部ごとに副代表を設けることになり、たまたま理工学部出身者がいなくて「それでは」と副代表を引き受けました。いまでは、月1回の会合よりその後の懇親会のほうがはるかに

待ち遠しく楽しい。

現在、南甲倶楽部、不動産白門会の二つの大学関係の団体に入会し、それぞれの会で気兼ねなく話をする事ができる先輩らと歓談し、仕事に、酒に、遊びにと楽しんでいきます。このこととかなり交際範囲が広がったと自負しています。

われわれも大学卒業後すでに25年が経ち、学生時代をともに過ごした者が気軽に集まれる場やキッカケに白門48会がなればと考えています。昔話に花を咲かせるもよし。これからの「何か」に期待し、一緒に行動しよう。

特に、理工学部出身者は白門48会に入って顔を見せてください。

大きな花になるよう育てていきたい



子 愛 代表
副 藤 藤 佐 経 済 学

……聖橋の改札口を出るとすっかり様変わりした街並み、走馬灯のように蘇っ

てくる青春の光と影。25年の歳月が確実に横たわる。

今年、下の娘が成人式を迎え、社会人として巣立ちました。仕事をしながらの長かった子育ても、間もなく終わりを告げる——そんな時、白門48会と出会いました。心の奥からわき上がってくるこの懐かしい熱い想いは何なのだろうか……21世紀は「心の時代」といいます。人との関わりもますます大切になってくるでしょう。私自身も営業の仕事で苦しんでいたころ、白門の諸先輩方に多く助けていただいて、今また様々な分野で活躍している仲間たちとの再開に、大きく勇氣づけられています。

私は副代表として、感傷や懐古ばかりではなく、情報交換、自己啓発等々の活動の場としても、いろいろ語り合い、楽しめる魅力ある会づくりを目指していきたいと思っております。

そして、全国の同期生たちに一人でも多く呼びかけて参加していただき、白門48会を大きな花に育てながら、心の絆をより深めていきたいと思っております。

……聖橋の改札口を出るとすっかり様変わりした街並み、走馬灯のように蘇っ

出版・印刷に関することならすべて

株式会社 レインボー印刷

営業担当 滝田 健 司

〒116-0002 東京都荒川区荒川4-17-5
TEL 03(3806)6 2 0 1
FAX 03(3806)6 2 0 6



出版部

課 長 横田 利 久

中央大学

〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
TEL. 0426-74-2352 FAX. 0426-74-2354
e-mail: rikyu@tamajs.chuo-u.ac.jp

白門48会結成準備会に集まった委員の顔ぶれ

代表 横田 利久〔商学部卒〕
副代表 新井田 研一〔法学部卒〕
副代表 佐藤 豊〔経済学部卒〕
副代表 佐藤 愛子〔文学部卒〕（旧姓峰越）
副代表 福岡 悟〔理工学部卒〕



準備会委員

安藤 正敏〔法学部卒〕
宮本 博志〔法学部卒〕
小松田 貞利〔法学部卒〕
菅原 進〔法学部卒〕
石坂 隆〔法学部卒〕
田中 敏朗〔法学部卒〕
野澤 紀雅〔法学部卒〕
利根川 永司〔法学部卒〕
齋藤 恒夫〔法学部卒〕
井沢 和夫〔商学部卒〕
橋本 長茂〔商学部卒〕
江川 修司〔商学部卒〕
紺野 哲雄〔商学部卒〕
小林 秀男〔商学部卒〕
水野 勝敏〔商学部卒〕
杉本 光子〔商学部卒〕
川嶋 直人〔商学部卒〕
富田 救〔商学部卒〕
鈴木 治男〔商学部卒〕
三森 孝悦〔理工学部卒〕
村上 一永〔理工学部卒〕

森 雅明〔経済学部卒〕
滝田 健司〔経済学部卒〕
中 秀夫〔経済学部卒〕
藤原 忠司〔経済学部卒〕
八木 一仁〔経済学部卒〕
平野 昭一〔経済学部卒〕
野上 徹〔経済学部卒〕
矢澤 米夫〔経済学部卒〕
榎本 真一〔文学部卒〕
吉田 泰介〔文学部卒〕
宮崎 守〔文学部卒〕
弘中 真知子〔文学部卒〕（旧姓下島）
坂井 寛子〔文学部卒〕
小林 裕〔文学部卒〕
新井 真弓〔文学部卒〕（旧姓久保）
川名 まゆみ〔文学部卒〕（旧姓松澤）
中島 信子〔文学部卒〕（旧姓小原）
藤野 美知子〔文学部卒〕（旧姓鈴木）
飯塚 恭子〔文学部卒〕（旧姓小林）
矢島 昇〔文学部卒〕

☆以上46名（学部別・順不同・敬称略）

自伝・創作・詩歌集等自費出版の編集

なみきみち社

代表 榎本 真一

〒236-0005 横浜市金沢区並木2-7-3-610
☎045-772-1271

引越しから～印刷物の配送まで

株式会社 **山伊商會**

代表 **伊澤 春夫**

営業所 〒113-0033 東京都文京区本郷3-43-8
TEL03(3813)4801・FAX03(3813)4761